



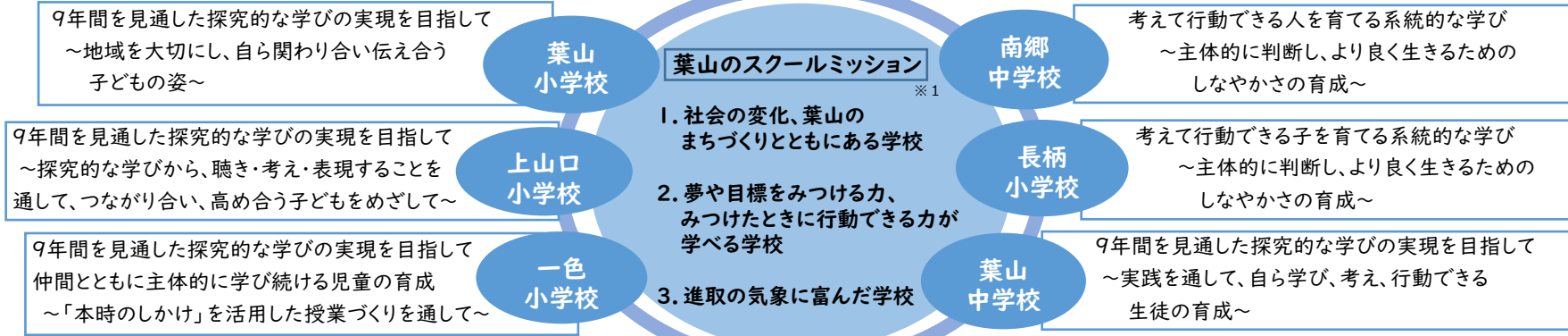
子どもたちがこれから生きる世界



【6校共通の研究の柱を設定し、学びの連続性を確保】  
9年間を見通した系統的な学び

葉山町では、小中一貫教育推進のため、  
学びの転換に取り組んでいます。

【各校研究テーマ】



学びをつなげる

**小中連携** 学校種を超えて授業公開・参観、研究協議を行う。  
【実践例】令和8年度からの小中一貫教育校の開始に向けて**研究発表会**を開催。全校の教員が参加。(葉山中・葉山小)

**地域連携** 地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、多くの地域の方との協働的な学びが実現。各校に設置したコミスクルームが拠点。  
【実践例】「棚田の魅力をつなげよう・伝えよう」(上山口小5年) 地域の方と「竹踊り復活プロジェクト」(長柄小)

**ICT活用** PC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用した児童・生徒の割合 小学校: 70.9% (全国46.7%)、中学校: 91.6% (全国53.2%)  
シンキングツールを活用した対話や端末を活用した様々な学習成果(スライド、チラシ、HP等)の発表が見られ、ICT活用が日常化している。  
※令和7年度全国学力・学習状況調査より

※1 葉山町のスクールミッション…令和5年12月に制定した町の定める学校教育における最上位の理念。